

自己免疫性甲状腺疾患の遺伝的要因に関する研究のお知らせ

帝京大学ちば総合医療センターでは以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間：2021年12月2日～2024年3月31日

〔研究課題〕 次世代シーケンサーによる HLA 領域の遺伝子における日本人自己免疫性甲状腺疾患(AITD)の一塩基置換多型(SNP)の同定

〔研究目的〕

自己免疫性甲状腺疾患(AITD)のうち、バセドウ病は日本人の約 0.3%、橋本病は約 3.0%に認められ、その成因としての遺伝子の役割が 79%と推定されています。この研究は AITD の疾患に関連する遺伝子の型を研究します。

〔研究意義〕

AITD の予防や治療に結びつけること期待されます。

〔対象・研究方法〕

2015 年から 2017 年に、帝京大学ちば総合医療センター第三内科において、今回と同名の研究（帝遺倫 14-017）にご参加いただいた患者様の血液より抽出した DNA が保管されております。それを用いて、追加の遺伝子解析及び統計解析を行います。遺伝子解析及び統計解析は、金沢大学医薬保健研究域医学系革新ゲノム情報学分野（研究責任者 細道一善准教授）で行われます。

〔研究機関名〕

帝京大学ちば総合医療センター、金沢大学医薬保健研究域

〔個人情報の取り扱い〕

患者様の個人情報は特定できないよう配慮いたします。

〔その他〕

以前に提供いただいた試料を用いる研究であり、新たな患者様の負担はありません。

対象となる患者様で、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力よろしくお願い申し上げます。

問 い 合 わ せ 先

研究責任者：講師 伴 良行

研究分担者：教授 井上 大輔、助教 井上 玲子

所属：帝京大学ちば総合医療センター第三内科学講座 内分泌代謝研究室

住所：千葉県市原市姉崎 3426-3 TEL:0436-62-1211 (代表) [内線 2011]